

署名にご協力下さい

～ 「矢島祥子の死の真相究明」を求める要望書への署名活動～

私の長女である矢島祥子は、大阪市西成区の診療所で内科医師として働き、仕事の傍ら、日本三大寄せ場（大阪市釜ヶ崎、東京都山谷、横浜市寿町）と呼ばれる釜ヶ崎という地域で、日雇い労働者や路上生活者の診療や生活支援等に取り組んでおりました。

その祥子が、平成 21 年 11 月 14 日未明から行方不明となり、同月 16 日未明に近くの川で遺体となって発見されました。

本年 6 月、大阪府警は「事件性が認められず、従って自殺の可能性が高い」との見解を示し、事件としての捜査打ち切りを示唆しました。しかし、一部テレビ番組（8/21「報道特集」TBS、9/2「スーパー」チャンネル、テレビ朝日）でも放映されましたが、祥子の後頭部には、死亡前に受傷した打撲痕が残されており、その他にも、自殺と結論付けるには、あまりにも不明瞭な状況が多数残されております。そして何より、生き生きとしたやさしい笑顔で、ホームレスの方たちのために診療し、夜回りなどの活動をしていた祥子が、自殺したとは、どうしても納得がいきません。

私たち遺族は、大阪府警が事件として捜査を継続し、死の真相が究明されるよう、大阪府公安委員会に要望書を提出することを決意しました。その要望書には、皆さまのご理解とお力添えが必要です。どうぞ、私たち遺族に皆さまのお力をお貸し下さい。宜しくお願い致します。

矢島祥子の死の真相究明を求める署名に、是非ご協力下さい

平成 22 年 9 月 7 日

要望者：遺族代表 矢島 祥吉

署名郵送先（着払いでお願いします）

〒370-0031 群馬県高崎市上大類町 759

上大類病院内「さっちゃんの会 事務局」宛